

新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ

※令和5年2月16日現在の情報のため、変更となる場合があります。

新型コロナウイルスワクチン接種は、現時点では3月31日^金までです。接種がお済みでない方で接種を希望する方は、早めに接種をお願いします。

4月以降の接種は、引き続き自己負担なく受けられる方針が示されていますが、接種対象者やスケジュール、使用するワクチンなどについては、今後決定する予定です。

対象者	1・2回目接種（初回接種）	3回目以降の接種（追加接種）
12歳以上	○【従来型】	○【オミクロン株対応】 前回接種から3カ月経過後より接種可能
5歳～11歳	○【小児用】	○【小児用】 2回目接種から5カ月経過後より接種可能
対象者	1～3回目接種（初回接種）	追加接種
生後6カ月～4歳	○【乳幼児用】	×

茂原市のオミクロン株対応 ワクチン接種状況

接種対象者 69,265人
接種人数 39,707人
接種率 57.3%

※接種対象者は12歳以上の2回目接種完了者数。接種人数は、3～5回目接種としてオミクロン株対応ワクチンを接種した者の合計。

【予約・問合せ】 受付時間 8時30分～17時(土日・休日も受付)
長生郡市予防接種予約受付センター ☎050(3815)4790



予約受付サイト

市長が行く

第2次3か年実施計画

No.146

茂原市長 田中豊彦



先日企画政策課から、令和5・6・7年度の3か年基本政策別事業費の内訳について説明を受けました。これは、今後茂原市が行おうとしている教育文化、健康福祉、産業振興、安全安心、都市環境、協働推進の6つの基本政策を、それぞれ個別に細分化した中で予算化し、事業を進めていこうというものです。その中でも、特に防災・減災対策、交通安全対策をはじめとする「安全安心」分野、また、子育て支援施策を中心とした「健康福祉」分野に係る事業に重点を置いた配分となっています。どれもこれも非常に重要な施策だと思えますし、できるならば、全ての事業を進めていくことが理想ではあります。

しかし、まずその内訳を見てみると、ここ数年起きていることですが、財政調整基金を最初からあてにした予算配分になっているのです。このまま当たり前のように基金を

取り崩しながらの予算計上を常態化させてしまえば、今の基金残高（令和4年末予定残高34億5千万円余り）でも、令和10年には底をつき、それ以後の予算を組むことが相当きつくなるのが想定されます。急激な物価高騰がもう少し落ち着いた状況で推移していけば、少しは先送りできるかもしれませんが。

家計を例にとれば分かりやすいかと思いますが、収入が少なく貯金を取り崩しながらの生活は、誰でも不安になりますよね。なるべく出費を抑えようとするでしょう。財源が限りなくあるわけではないのなら、やはり、やるべきことは選択しなければなりません。今回の物価高騰等（令和5年度想定で7億2千万円増）の影響は今までにないほど急激に起きてきているので、企画財政当局には、さらなる予算計上の見直しをするように指示を出したところです。

「財調をそんなに積まなくてもいいじゃないか」と議会等でもさんざん言われてきました。もつと今困っている人たちのために使ったらどうかと。いわゆるバラマキですね。確かにそれははつきりとした道が見え、世のため人のためになりそうでもあり、一見とても良いことのように見えます。が、ことはそんなに単純では済みません。今や財調を積んでいかなかったら予算執行ができない状況がすぐそこまで迫っています。

茂原市民全員が困っている人にならないようにすることこそ、大切と考えますが、いかがでしょうか。

